

比較文化

室岡和彦

1. ねらい

国際理解特設の中の「比較文化」では、生徒にとって身近にある習慣や文化を比較して、日頃社会的無意識の中に沈潜していたものの意味を問い直すことをねらいとする。文化を比較する内容は多岐にわたり、その方法も問題に依存して一様ではない。例えば、一昨年度は「生きる力」という抽象的な枠の中で、地域、日本、世界のように地理的に広げてテーマを考えるよう指導した。昨年度は、日本の慣習の中からテーマを絞らせた。今年度は、人数が少ないこともあり、生徒にとって身近な存在から比較するテーマを選ばせた。

2. 方法

比較文化の調査は、適切なテーマの選択と調査方法についての援助である。特に、次のような項目を常に明確にしていくことで調査を進めていくことができる。

- ・テーマの名前を決める
- ・テーマを設定した理由を明らかにし、テーマの背景と意味を調べる
- ・事例を集め、データや表などを出典を明らかにしてまとめの準備とする

特に、毎時間ごとに上記のことがらについて途中経過を一定の様式に沿って記入させ、それについて教師がコメントする。インターネットで調べる場合、URLや統計資料の根拠を明らかにして適当なメディアに保存しておく。最近では、画像が多くなりFDDに収まりきれなくなったことが課題である。

3. 展開

今年度は、1学期で1つのテーマを設定して追求し学期の終わりに発表を行った。2・3学期でその継続あるいは新しいテーマの設定から始めることとした。実際には、3学期には時間数が少なく、日本にはなじみのない海外の料理を作る程度で終わった。ここで、生徒が設定したテーマの例を示す。

テーマ1 韓国の音楽と言葉について

韓国に旅行して音楽と言葉に興味をもったことが理由。韓国の現代音楽は、K-POPと呼ばれハウスミュージック、テクノダンス、ヒップポップダンス、トランスなどに分かれている。日本のアイドルと韓国のアイドルの決定的な違いは2年余りの「兵役」である。(2学期)朝鮮語と日本語の比較対象には音声と文字がある。素材は、日本が漢字を利用したのに対し、ハングル文字は口の形を利用した合理的な方法である。日本では漢字とかなを使うが、韓国では戦後ハングル文字だけになり伝統文化の断絶が起こっていることをまとめた。

テーマ2 イスラムについて

9月11日の事件は、宗教に根ざす文明の衝突だと思う。そこまでやるイスラム教の行動規範について知りたいと思った。イスラム教、キリスト教、仏教における行動規範を比較し、お互いを認め共存しあう方法を考えた。

テーマ3 ユダヤ人について

9月11日の事件の間接的な原因であるユダヤ人とアラブ人の対立がこのテーマを選んだ理由。日本人とユダヤ人の共通点は世界に進出して摩擦を起こしたことである。摩擦の事例を映画などから集めた。